



## 2年理科：化学変化と原子・分子

ねらい：自ら酸化銅から銅を取り出す方法を立案し、実験することにより、加熱しただけでは熱分解せず、電気分解も反応しない物質があることを知り、友達と相談したり考えを交流したりしながら、銅を取り出す方法を再立案し粘り強く科学的に探究しようとする。

## ロイロノート



生徒

生徒

酸化銅から銅を取り出す方法を考える中で、**ロイロノート上でモデルを作成し自分の考えを書き、各グループごとに実験方法を相談した後、実験を行った。**

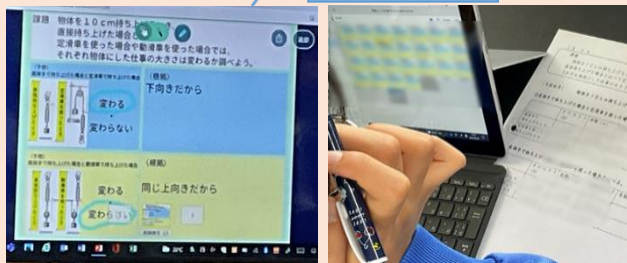
実験を行う中で撮影した写真を貼り付け、それぞれの生徒が**自分の考えた予想とロイロノート上のモデルを比較しながら考えを深めた。**

各班の実験結果を**ロイロノートを使って可視化することにより、クラス全員で実験結果を確認することができた。**

## 3年理科：仕事とエネルギー

ねらい：仕事の大きさは、物体に加わる力と物体を力の向きに動かした距離の積で表され、直接持ち上げて定滑車や動滑車を使って持ち上げて変わらないことを見いだす。

## ロイロノート



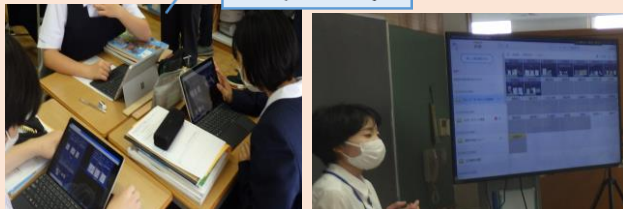
予想する場面において、ICT端末上のワークシートに図を提示することで、**言葉でも図でも表現できるように、生徒の思考を可視化していた。**また教師が手元のICT端末で生徒の状況を見取り、個別の支援につなげていた。

まとめる場面において、実験結果をあえて紙媒体に記入することで、**予想（ICT端末）と照らし合わせながら考察することができた。**ICT端末では友達の予想も表示できるため、友達の考えも参考にすることができた。

## 2年社会：近世の日本

ねらい：江戸幕府の大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの対外政策と対外関係などを根拠に、江戸幕府安定のキーポイントとなる政策を話し合う活動を通して、幕府体制が確立し、江戸幕府の安定につながったことを理解する。

## ロイロノート

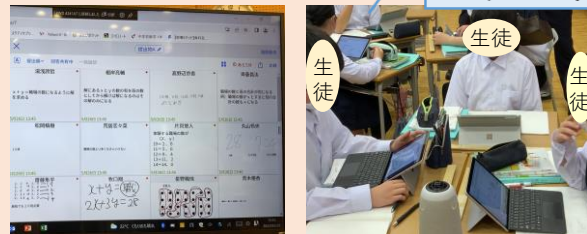


生徒一人一人が幕府の政策のポイントをロイロノートにまとめ、**各グループごとに政策を3つに焦点化することができた。**また、学級全体で再構成する際には、**各グループのロイロノートを大型テレビに提示したり、黒板で整理・分析したりすることにより、単元の課題解決に向け、江戸幕府が長く続いた理由を深く考えることができた。**生徒たちは主体的に歴史事情に関わり、自分や友達の考えを大切にしながら振り返りを行うことができた。

## 2年数学：連立方程式

ねらい：複数の解を一つにするための条件を考える活動を通して、連立二元一次方程式の必要性を理解し、今後の学習への見通しがもてるようにする。

## ロイロノート



個別で追究する場面では、**タブレットを用いて試行錯誤する生徒の様子が見られた。**生徒一人一人の**考えを可視化できるように大型テレビに提示した。**また、考えを深める場面では、**それぞれの考えをロイロノートに提示したものをもとに、考え方を隣同士で相談したり、グループで考えを伝え合ったりした。**生徒たちは、解が一つになるための条件に気づき、連立方程式のよさを実感することができた。